

令和8年度 第1回郡山市総合教育会議 次第

日時：令和8年8月25日（火）13時30分～14時30分
場所：郡山市役所 庁議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

（1）不登校対策について

（2）郷土愛を育む教育施策について
～選ばれるまちの実現に向けて～

4 閉 会

令和8年度 第1回郡山市総合教育会議 出席者名簿

役職名	氏名
市長	椎根 健雄
教育長	早崎 保夫
教育長職務代理者	藤田 浩志
教育委員	阿部 亜巳
教育委員	見越 大樹
教育委員	佐々木 貞子

（敬称略）



【備考】開催方式：対面会議 会議公開：YouTube配信

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第六号に基づき公開

目的：不登校児童生徒の居場所づくり・社会的自立支援（学校や教室復帰支援・教育機会確保）

不登校の現状と現在の取組について

【現 状】

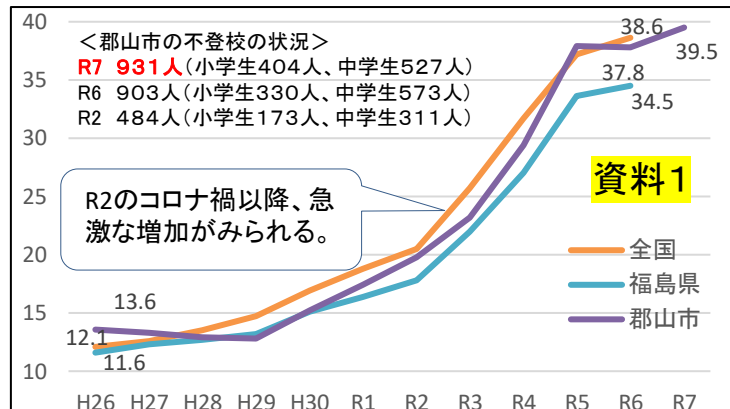
- 令和7年度の本市の不登校数は**931人**と過去最高の数値である。（資料1）
- 本市の長期（年間90日以上）欠席不登校の割合は、**全国と比較して高い**状況である。
（本市：65.8%…903人中594人、全国：54.2%）（令和6年度文科省データより）
- 本市の校内教育支援センター設置率は、**全国と比較して低い**状況である。（資料2）
（本市：38.7%、全国：58.7%）

【現在の取組について】

- 教育支援センター「ふれあい学級」、方部分室、サテライト分室、校内分室での支援
- 各学校における校内教育支援センターや県配置SSR（スペシャルサポートルーム）による支援
- 「スマイルチェック」、「不登校対策シート」による新たな不登校の未然防止
- 「【郡山市版】不登校児童生徒支援 ステップアップガイド」の周知



郡山市・福島県・全国の1,000人当たりの不登校児童生徒数



令和8年度 本市における校内教育支援センター設置の状況と学校生活支援員の配置状況・配置の推移

【校内教育支援センター設置状況：38.7%】

- 市内75校中、29校（小学校8校、中学校20校、義務教育学校1校）

【学校生活支援員の配置状況】

	小学校	中学校	義務教育学校
市配置	2校（2名）	14校（13名）	なし
県配置	2校（2名）	3校（3名）	なし

【市配置の学校生活支援員の推移】

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
配置人数	8名	11名	12名	13名	14名	14名	15名

課題解決のために

（1）校内教育支援センターの機能強化

- 児童生徒が気持ちを落ち着かせ居心地よい空間の整備（資料3）
- 学校生活支援員の増員

校内教育支援センターとは…

学校には行けるけど自分の教室に入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の空き教室等を活用した部屋のこと

【リフレッシュエリア・カームダウンエリア】

- ・ソファやクッション、温かみのある照明
- ・パーソナルスペースの確保

【対話・交流エリア】・集団での対話や作業スペース

【個別学習エリア】・パーテーションでの区切り、個別学習ブース

（2）授業配信システムによる学びの保障

- 不登校児童生徒が自宅や校内教育支援センターから参加できるオンライン学習環境の構築

実践事例

熊本市「フレンドリーオンライン」（R4年度～）

- ・オンライン配信拠点校からの授業配信、オンライン学習支援員による学習支援

延岡市「のべおかつながるオンライン」（R5.9月～）

- ・オンライン学習配信拠点校から配信、オンライン学習支援員による学習支援

＜期待される効果＞

- 在籍学校での学びに向かいつつある不登校児童生徒や、不登校の兆候がみられる児童生徒が、学校内で安心して学習することや、相談支援を受けることが可能となる。
- 支援員の配置により、学校生活への心理的ハードルが低下し、不登校の未然防止・早期対応・教室復帰が可能となる。
- どこからでも学べる環境を整備し、児童生徒に対する学びを保障する。

資料3



＜出典：名古屋市公式ホームページ 教育委員会 新しい学校づくり推進課＞

(1) 郷土を学ぶ体験学習について



1.趣旨

次代を担う子どもたちに郷土の歴史や文化を体験する活動を通して、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てる。

2.実施方法

体験学習を希望した学校が立てた計画に基づき、市が借り上げたバスで、小学校4学年が公共施設を見学する。実施の際は、小学校版「ふるさと郡山」を事前・事後指導に活用し、施設見学の充実を図る。

3.見学地域

こおりやま広域圏構成市町村（郡山市・須賀川市・二本松市・田村市・本宮市・大玉村・鏡石町・天栄村・猪苗代町・石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町・三春町・小野町・磐梯町）

※令和3年度よりこおりやま広域圏構成市町村も対象とした。

4. 主な見学施設

郡山市内

・郡山市ふれあい科学館	・富久山クリーンセンター
・河内クリーンセンター	・堀口浄水場
・荒井浄水場	・沼上発電所
・安積疏水土地改良区	・逢瀬公園
・開成山公園	・開成館
・ほっとあたみ	・大安場史跡公園
・郡山市総合地方卸売市場	・郡山市立美術館
・磐梯熱海スポーツパーク	・郡山市歴史情報博物館
・郡山市少年湖畔の村	・高柴デコ屋敷

こおりやま広域圏内

・十六橋水門	・上戸頭首工
・亀ヶ城公園	・野口英世記念館
・三春ダム資料館	・三春町自然観察ステーション

5.今年度の実施校

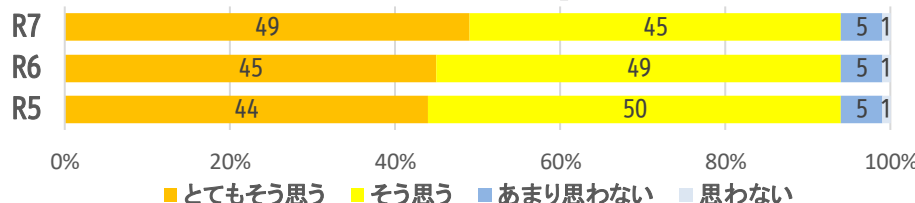
小・義務教育学校【51校】※全ての小・義務教育学校が希望

6.参加人数（人）

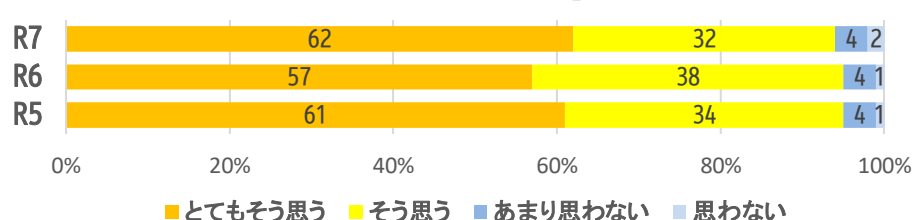


7.児童アンケートの結果

「ふるさとについて詳しくなりましたか」に対する回答(%)



「ふるさとのことが好きになりましたか」に対する回答(%)



8.成果と課題

○全ての小・義務教育学校が実施を希望しており、体験学習としてのニーズは高い。多くの児童が、この体験学習を通して郡山の施設や自然のよさ、歴史の深さ、郡山の施設で働く人の努力や素晴らしさを理解し、郷土への愛情を深め、興味・関心を広げることができた。

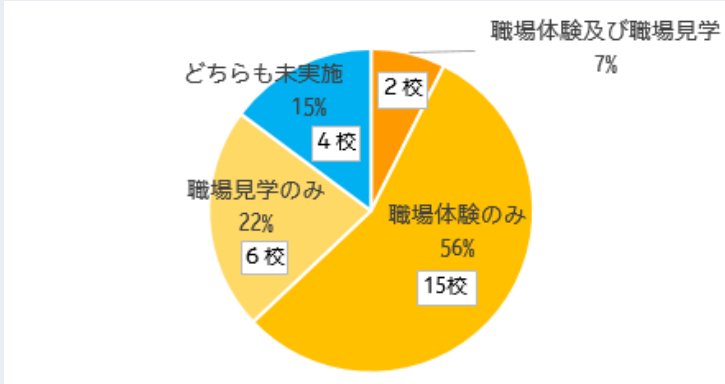
●現在は、見学できる施設数が2箇所であるが、もっと見学箇所を増やしたいという意見もあり、今後、郷土を学ぶ機会や時間をどう充実させるかが課題である。

(2) 職場体験の取り組みについて



2026/8/25
学校教育部 学校教育推進課

趣旨 児童生徒が地元企業等での見学や体験をととして、働くことについて学び、望ましい職業観を育むため

	小学校・義務教育学校前期課程	中学校・義務教育学校後期課程
教科等	生活科（１、２年）、社会科（３～６年）	総合的な学習の時間
ねらい	児童が地域で働く人に親しみをもったり、地域の産業と自分たちの生活の関連に気づいたりする。	生徒が実際に地元の身近な職業を肌で感じて、働くことの意義や社会に貢献することの大切さを学ぶ。
訪問先	１、２年：商店、郵便局、交番、消防署など ３、４年：商店、食品工場、浄水場、クリーンセンターなど ５、６年：商店、自動車販売店、農園など	造園、食料品製造、放送局、新聞社、宅配便、銀行、商店、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、レストラン、旅館、理容室、美容室、幼稚園、小学校、病院、薬局、介護施設、保育所、自動車整備場、警察署、消防署 など
実施校 (R7)	職場見学 全５１校（実施率１００％）  職場見学 100% 51校	職場体験・見学 ２３校（実施率８５％）  職場体験及び職場見学 7% 2校 職場体験のみ 56% 15校 職場見学のみ 22% 6校 どちらも未実施 15% 4校 未実施校４校は出前講座や職業講話を実施 ※ 各校が実態に応じて適切に選択し、キャリア教育の充実を図っている

成果 地元企業を活用した職場体験（職場見学）は、児童生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けることにつながっており、今後もキャリア教育の充実を図っていききたい。また、地元企業の仕事や身近に働く人の姿を学ぶ貴重な機会ともなっている。

課題 中学生の職場体験における受け入れ事業所の確保、生徒の希望業種の偏りによる事業所の調整などが難しいため、学習の趣旨を広く周知し、受け入れ可能な事業所と学校とのつながりを広げていく必要がある。

(3) 学びの広場「ほぼいえ」の運営

事業目的

高校生等の「学びたい」を応援しながら「人づくり・地域づくり」をコンセプトに掲げ、中央公民館に「学びの広場」を設置し、高校生等に学習スペースを提供するとともに、地元企業や大学、一般市民との繋がりを通じて、新たな価値を生み出し、人材の育成や地域の活性化等を目的とする。

愛 称：「ほぼいえ」（高校生が「ほぼ家のような学びの場としたい」との意味を込め命名。）
予 算 額：R6 5,420千円、R7 1,853千円 R8 2,591千円

実施場所

郡山市立中央公民館 3階 講義室及びコラボスペース

受託企業

FindValue株式会社（郡山市緑町9-12）代表取締役C00 大川 翔 氏

実施内容

▶ 学習室（つどう）
いつでも集える場の提供

▶ 情報交流（まなぶ）
セミナー等の開催
（地元企業の活動・魅力の発信）

▶ 交流と学びあい（むすぶ）
コミュニティ育成
（高校生段階での郷土愛の醸成）

8月の地元の先輩トーク

進路編 | 18:00～19:00

- 8/11 自分のやりたいことと環境の一致
- 8/25 現役で社会人をしてながら大学生をしている話

仕事編 | 18:00～19:00

- 8/6 知って得するお金の話
- 8/20 就職した会社を4ヶ月でやめて、起業した話
- 8/27 将来なんて決まっていなくていい



玉井 貴陽さん 藤子 麗莉さん 中村 美穂さん 大黒 ゆうさん 大久保 涼子さん

事業実績

【学習室】（平日 16:00～20:30）（土・日・祝等 9:00～20:30）

R7 期間：6/3～3/31 利用者：1,629名

【情報交流事業】

R7 14回、231人参加

■Z世代カンファレンス

学生と地域の社会人・企業が価値観を共有し、キャリア形成・地域社会との接点づくりを行う

■Z世代本音ワークショップ

まちづくりをテーマに、高校生、大学生、若手社会人、若手経営者が郡山の未来について本音で語り合う

■またねイベント

卒業を機に新たな道へ進む高校生に、地域の温かさを感じてもらい、未来への一歩を応援する



<Z世代カンファレンスの様子>

など

(4) 中央キッズスクール × ものづくり工場 OPEN FACTORY KORIYAMA

事業概要

【目 的】 市内の小学生を対象に、夏休みを利用し、日頃経験することができない創作活動や他校児童との交流の機会を提供し、子どもたちの創造力や協調性を育む。

さらに、OPEN FACTORY KORIYAMAとの連携講座では、子どもたちに、ものづくりの魅力を感じ、地元企業を知ってもらうことで、ふるさと郡山への関心や誇りを育む。

OPEN FACTORY KORIYAMAについて

市内10社のものづくり企業で構成し、郡山市（産業創出課）、市内高等教育機関等と産学官連携により企画運営を行っている。

ものづくりの楽しさや市内のものづくり企業を知ってもらうため、工場見学（工場開放）のほか、産業博等の地域イベントへの出展などの活動を行っている。

【開始年度】 令和7年度
【予 算 額】 600千円（概算）

R8実施内容

- 【講 師】 OPEN FACTORY KORIYAMA参画企業の“職人”
【テ ー マ】 “ものづくり”（7/23～8/2）
【講座実績】
- ①「不思議なミラーボックス」
講 師： 陶岩崎ガラス工芸社
参 加 料： 1,500円
開催回数： 2回
参加人数： 延べ37人（延べ申込者86名）
 - ②「鉄を曲げる日」
講 師： 株式会社北斗型枠製作所
参 加 料： 1,000円
開催回数： 2回
参加人数： 延べ40人（延べ申込者104名）
 - ③「じぶんだけのシャープペンをつくろう！」
講 師： OPENFACTORY KORIYAMA
参 加 料： 2,000円
開催回数： 6回
参加人数： 延べ109人（延べ申込者198名）



●高速道路カントリーサインをリニューアル（選ばれるまち推進課）

令和8年度（新規）

市内の高速道路に設置されているカントリーサイン（※）を更新し、本市の魅力を発信するとともに、小学生へのワークショップを通じてシビックプライドの醸成を図る。

※カントリーサイン：市町村の境界に設置されている道路標識で、市町村を象徴するイラストと市町村名を合わせたもの。

設置場所		現在のデザイン	設置時期
東北自動車道	上り（喜久田町）	 <采女>	平成4年
	下り（安積町）		
磐越自動車道	上り（熱海町）	 <花かつみ>	平成3年
	下り（西田町）		平成7年

<事業概要>

- カントリーサインのデザイン作成
 - ①設置場所付近の小学校で、地元の魅力や誇れるものについて考えるワークショップを開催（各校2回・8月末～9月）し、デザイン案を作成（実施校：喜久田小・安積第二小・熱海小・西田学園）
 - ②①の小学校の案をもとに、デザインを学ぶ地元大学生等が看板デザインを制作
- 看板シートの作成・設置
アフターDCに備えて来年3月に設置予定

●親子で発見！郡山おしごと体感バスツアーの開催（産業雇用政策課）

令和8年度～（新規）

地元企業の魅力や仕事内容への理解を促進し、将来的な進路や働き方に地元企業が選択肢となることを目的として、市内の小中学校に在学又は市内在住の小中学生とその保護者を対象に、企業の見学・体験（ワークショップ）ツアーを実施。

第1回 8月1日（土曜日）

①株式会社郡山製餠
餡子スイーツやあんみつパッケージの新開発会議体験&あんみつパッキング体験

②社会福祉法人太田福祉記念会
知らなかったの連続！車いす・ふしぎな食事・介護ベッド&チェアをのぞいてみよう

第2回 8月22日（土曜日）

①陰山建設株式会社
ドローンパイロット体験！電動マイクロミニショベル体験！自社で開発したメタバース空間「メタ旅ふくしま」を体感！設計や測量のお仕事を体験！

②郡山冷蔵製氷株式会社
ひんやりした倉庫でお店に届く商品を正しく集める（ピッキング）プロのお仕事体験



（郡山製餠）



（太田福祉記念会）

●福島の「ものづくり」が命を救う！～夏のメディカルテクノロジー体験～の開催（保健所健康政策課）

令和7年度～

次代の医療を担う人材の確保や、医療従事者の仕事への理解を深めることなどを目的に、中学生の将来の進路選択の一助となるよう医療従事者の仕事や医療現場を体験するイベントを開催する。

日 時：令和8年8月17日(月) 9:30～12:00
会 場：ふくしま医療機器開発支援センター
対 象：市内在学の中学1年生・2年生
内 容：

- ①福島の「医療ものづくり」のすごさを知ろう！
（保健所長、センター長の講話等）
- ②「リアル」な手術室に潜入しよう！
（手術室見学）
- ③ドクターの技術に挑戦しよう！
（腹腔鏡操作体験、縫合体験）
- ④いのちを支えるナースの仕事を体験しよう
（聴診器体験、点滴体験）



↑ 腹腔鏡操作体験

↓ 聴診器体験
（リアルな心拍を聞き取りました。）



中学1・2年生
対象！ 見て！触れて！体験して！医療を知ろう！

福島の『ものづくり』が命を救う！
～夏のメディカル
テクノロジー体験～

開催日 2026. 8.17 (月)
時 間 9:30～12:00
（現地集合・現地解散）
会 場 ふくしま医療機器開発支援
センター
（郡山市富田町清水27-8）
対 象 郡山市内に在学の
中学1年生・2年生
定 員 25名
参加費 無料

こんなことができます！（予定）

- ① 福島の「医療ものづくり」の
すごさを知ろう！
- ② 『リアル』な手術室に潜入
しよう！
- ③ ドクターの技術に挑戦しよう！
（内視鏡手術で使われる腹腔鏡操作体験、縫合体験
ができる！）
- ④ いのちを支えるナースの仕事
を体験しよう！
（心臓の通し方・聴診の聴き方などの体験ができる！）

おすすめポイント！

- 手術の現場を
覗ける体験！
- 最新の医療器
具を触る体験！

申し込み方法

申し込み期間 2026.6.24 (水)～7.24 (金)

※応募者多数の場合は抽選となります。
※抽選の結果は抽選当日の午後15時までにメールで通知されます。申し込み後3日以内に申し込みをキャンセルします。
※二次選考コード

お問い合わせ先
郡山市保健所健康政策課健康政策推進係
電話 024-626-3020（平日午前9時～午後12時）
Eメール kankou@city.fukushima.jp

●トップスポーツチームとの連携（スポーツ振興課）

平成30年度～

本市をホームタウンとして活動するトップスポーツチーム「福島ファイヤーボンズ（B.LEAGUE所属）」「福島デンソーエアリービーズ（SV.LEAGUE所属）」は多くの児童・生徒の憧れであり、チームの存在自体が本市の魅力の一つである。

この環境を活かし、本市とチームが連携し、チームの専門的知見を活かしたバスケットボールやバレーボールの指導、初心者向けの運動プログラム、講演会を開催する等、児童・生徒がチームを身近に感じられる場を提供している。



▲福島ファイヤーボンズ
バスケットボール指導の様子



▲福島ファイヤーボンズ
「夢」をテーマに授業する様子



▲福島デンソーエアリービーズ
バレーボールスクールの様子



▲福島デンソーエアリービーズ
「夢」をテーマに授業する様子

●外線電話機の整備

教職員の時間外在校等時間の削減を目的に郡山市立学校の外線電話機へ音声ガイダンス及び通話録音機能の導入を検討

1. なぜ導入が必要なのか

(1) 国の動向

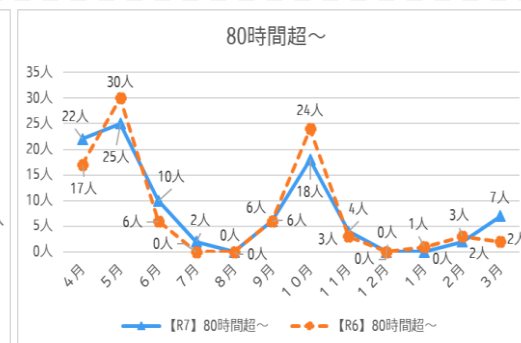
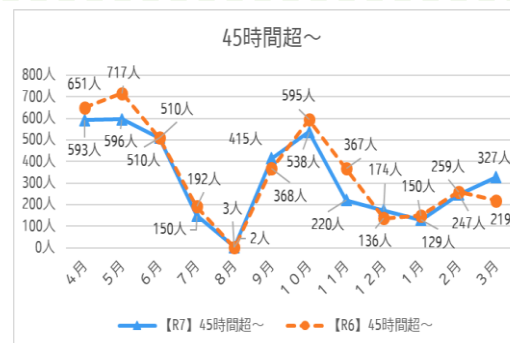
令和7年6月に一部改正された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」により、服務監督教育委員会に、国の指針に即した業務量管理・健康確保措置実施計画の策定が義務付けられた。

(2) 本市教育委員会の動向

前述の国の動向を受け、働き方改革の更なる加速化を推進するための実施計画として、令和8年6月に「教職員働き方改革加速化推進プラン」を策定し、業務量管理・健康確保措置に係る取り組みの一つに「外線電話機の整備」を位置づけている。

(3) 本市の現状

- ・教職員の時間外在校等時間
令和6・7年度平均月30時間（令和5年度より2時間減少）
- ・45時間超の時間外在校等時間となった教職員の延べ人数
令和7年度3,902人（令和6年度より264人減少）
- ・80時間超の時間外在校等時間となった教職員の延べ人数
令和7年度 96人（令和6年度より4人増加）



➡ **時間外在校等時間のさらなる縮減のため対策が必要**

2. 導入により見込まれる効果

(1) カスタマーハラスメントを牽制

受電時に、通話が録音されている旨の音声ガイダンスを流すことにより、カスタマーハラスメントを牽制することができるとともに、そのような**電話対応時間の削減**が見込まれる。

(2) トラブルの抑止

通話を録音することにより事後の事実確認が可能となり、「言った、言わない」の**トラブルを抑止**することができる。

(3) 時間外対応の抑制

学校現場からは、時間外の電話対応が時間外勤務増大の大きな要因になっているとの声が上がっており、**適正な勤務時間管理**の観点から極めて有効。

➡ **時間外在校等時間削減及び心理的負担軽減が見込まれる**

3. 他自治体(教育委員会)導入状況 (試験運用や予定を含む)

- ・青森県：**全域**（県が全額補助）
- ・茨城県：笠間市
- ・東京都：昭島市
- ・埼玉県：北本市
- ・神奈川県：横浜市、横須賀市、小田原市、二宮町、大井町 など

郡山市においては、令和8年1月より、電話対応の品質向上、**カスタマーハラスメント対策などトラブルの未然防止、働き方改革の推進**を目的として、本庁舎及び西庁舎において通話録音装置等を導入し、通話録音及び閉庁時間における時間外ガイダンスの運用を開始している。